

# 揖斐郡教育研修センター通信 第8号 R6.3.7

## ～令和5年度揖斐郡教育研究員アンケートより～

日頃は揖斐郡教育会及びセンター事業に関しまして多大なご尽力をいただき、誠にありがとうございます。令和5年度、揖斐郡教育会では、

- (1) 揖斐郡内の教職員の人材育成をめざす
- (2) 揖斐郡の教育活動の充実、揖斐郡の教職員の指導力の向上をめざす。

の願いのもと「揖斐郡教育研究員事業」を実施しました。

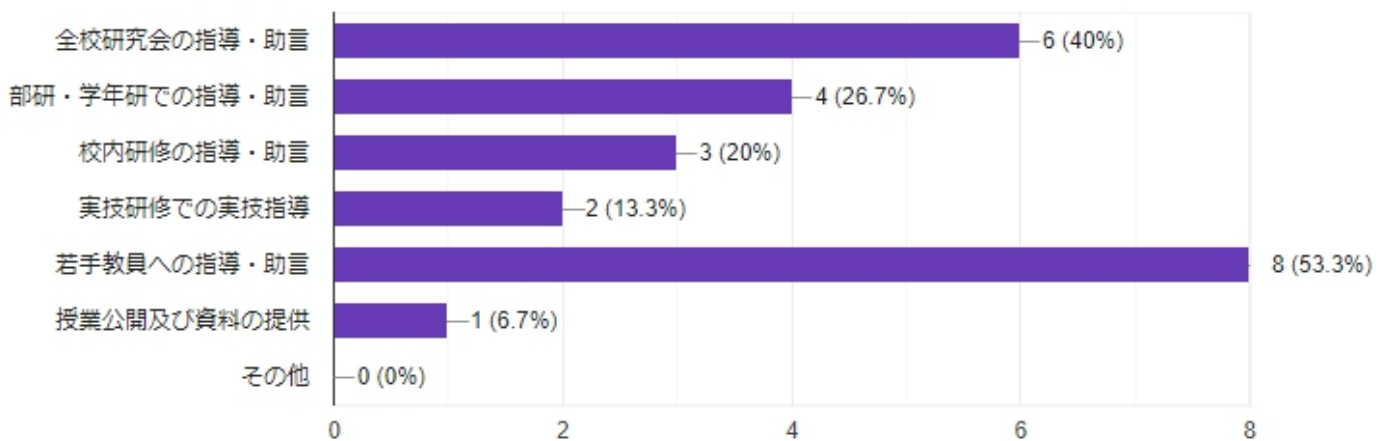
教育研究員の先生方にはお忙しい中、

- ① 要請に応じて全校研究会・部研等の研究会等に参加し、自らの実践に基づいて意見を述べたり、指導助言を行ったりする。またそうすることを通して、自らの資質や指導力の向上にも努める。
- ② 各校の研修会や実技研に参加し、研修会での指導や実技研修の指導を行う。
- ③ 若手指導教諭の指導を行うとともに自分の実践をもとに授業づくりや各領域の指導のアドバイスをを行う。

などの取組において、適切なご指導をしていただくとともに、教育研究員アンケートにご回答いただきました。

令和6年度の教育研究員事業がさらによりよいものになることを願い、アンケートの結果をまとめた「センター通信第8号」を作成致しましたので送付させていただきます。今後とも揖斐郡教育会及びセンター事業に関しましてご尽力のほどよろしくお願い致します。

### (1) 郡教育研究員としてご指導いただいた活動（複数選択）



### (2) 教育研究員の活動を通しての成果（自分の成長・派遣校への貢献）

教育研究員の先生方からは「揖斐郡内の教職員の人材育成をめざす」・「揖斐郡の教育活動の充実、揖斐郡の教職員の指導力の向上をめざす」の2点から成果について次のご回答をいただきました。

- 改めて教材観や指導観を見直す機会となり、自己研鑽に努めることの重要性を再確認できたと感じます。
- 研究員の研修会は、他の先生方の考えを聞くことができ、よい刺激になりました。学び続けることを大切にしたいと思います。
- 普段、自分が算数・数学の授業を行うことがないため、訪問する前に自分なりにかなり研究して臨むことができ、大変勉強になりました。算数科として大切にしたいことを伝えながら、自分自身も大切なことを再確認することができた。派遣された学校の先生方にとって、少しでも分かりやすく、すぐに生かせそうな内容の話をしてきたつもりだが、実際はどうだったかは分かりません。派遣された学校の校長先生から、授業研に関わる通信をいただけたので、多少なりとも貢献できたのではないかと感じています。
- 個人追究と全体交流の場面ごとの教師の役割について、若手の先生と共に学ぶことができました。
- 社会科が専門ではない若手の先生に、教材研究や授業づくりについて、自分の実践を例に話をしました。改めて、社会科の授業で大切なことや子どもたちにどのような力をつけていきたいのかをまとめることができました。
- 自分が実践してきたことを、少しでも広める機会になりました。
- 研究紀要、指導案の解釈のために、算数科の教材研究の時間をあらためて持つことができました。指導案の作成の仕方、課題解決に向かう発問や手立てなど、研究内容に沿って考えたことを伝え

ることはできました。

- 校内研修、若手研修の講師として準備することで、自分お自分の実践を振り返り、改めて自分がこれまでに先輩先生方から学んできたことや実践して学んできたことを学んできたことを見つめ直すことができました。
- 研究構想に関わって、教科指導について学び直しができました。
- 校区内の小学校の児童の様子を一足早く知ることができ、来年度以降の中学校での生徒指導等について想定することができました。また、私自身は本校に同じ教科の教員がいないため、同じ教科の教員と共に教科の本質について議論できる良い機会となりました。
- 大変熱心に授業をしてくださっていました。授業の流れやポイントを、改めて考えるきっかけになりました。
- NEW！ GIFU ウェブラーニングの普及を行うことができました。
- 少人数における追究や対話の在り方について、本校の実践を紹介しながら、説明ができました。
- 一緒に国語の授業の作り方や指導方法を話し合うことで、新しい視点を得て、実践に生かすことができた。派遣校では、昨年度もお世話になり、2か年の研究の取組について町研究会で話をしました。話す立場であるため、自分の見聞を広め、自分の実践を交えながら話すことを意識しました。そういった意味で派遣校に少しは貢献できたのではと考えています。
- 小学校でどのような学びが行われているかを学ぶことができました。
- それぞれの学校の研究に基づいた取組から、新しく学ばせていただくことができました。また、これまでの自分の実践をもとに、改善点や考慮すべき点などをお伝えできました。



### (3) 教育研究員としての活動で感じた課題や次年度の教育研究員へ事業についての意見や要望

令和5年度の教育研究員の先生方から、①のような令和6年度も大切にしていきたい視点と、②の令和6年度に向けて改善していくべき点をご示唆いただきました。①・②を踏まえ、郡小中校長会のご指導を受けながら揖斐郡教育研修センターでは令和6年度の教育研究員事業をよりよいものにしていきたいと考えております。ご尽力のほどよろしくお願い致します。

#### ① <令和6年度の教育研究員事業でも大切にしていきたい点>

- 年度当初の計画の中に、自身が該当する専門教科(分野)がなかったために、わざわざ指導の機会を設けていただいた。互いのニーズが一致したときに適切な指導機会を設定でき、お互いに学びがあるなど感じます。
- 昨年度の経験ですが、他校の先生と授業について一緒に考えることは、自分の授業を見つめるよい機会となりました。小学校の授業を参観させていただいたことで、小学校の学習内容を踏まえた授業の必要性を強く感じました。
- 自分の実践を振り返ったり、若手教員に伝えられたりと、とてもいい機会になりました。
- 訪問校と事前に打ち合わせて、実態と要望(ニーズ)をとらえて訪問することで、お互いに学び合えると感じました。
- 研究会の助言は、こちらが得るものが多いように感じました。ご指導いただいた校長先生をはじめ、多くの関係者の方の支援のうで成り立っている制度です。これからも切磋琢磨していくためにも継続していけるとよいと思っています。
- 今回若手の先生と指導案作成に至る打ち合わせ、授業後の指導などマンツーマンで行うことができ、大変指導がし易かったです。全校研のような場も大切だが、こうしてすぐに相談できるような存在を作ること必要だと感じました。

#### ② <令和6年度の教育研究員事業で改善していくべき点>

- 今年度は3校訪問させていただきました。負担を考えると、2校までにさせていただけるとありがたいです。
- 他の研究員の先生方はどのように準備をされ、どのように実践されていらっしゃるのか交流できるとありがたいなと思いました。
- 派遣先の学校から、どういう視点で見たいかなどの指導案等による事前提案がないまま当日を迎えたため、こちらにも事前に視点を絞った資料等の準備をすることができませんでした。今後事業を充実させていくなれば、派遣依頼する側も視点や内容を事前に明確にし、研究員側も相應の準備をして臨むべきだと感じました。
- 研究員の授業公開は負担になるので、依頼校が授業公開をして研究員が助言していく形か、研究員側の授業公開を参観していただく形で実施してもらえるとよいと思います。
- 研究員が自らの学びの場としてあるのであれば、もっと若い先生方に積極的に活動をしていただきたいと思いました。
- 旅費の受取に行くことが負担(忙しい時期、自分にとっては遠方、勤務時間内の移動など)なので改善していただけるとありがたいです。

※この点につきましては3月4日発送文書にて受取に来なくてもよいよう配付方法の変更をしてありますのでご確認ください。